



「伝統と実績の100周年。未来へつなぐ愛情教育」

2018年 駿台は創立100周年を迎えます

2017年2月9日

学校法人 駿河台学園 広報部

次期学習指導要領設置検討科目
「理数探究—私たちの描く将来の学力像—」
物理・化学・英語の3講師による科目横断講座

駿台教育研究所では、次期学習指導要領設置検討科目「理数探究」をテーマとした「教育研究セミナー」を、2017年2月12日(日)にお茶の水8号館にて高校の先生を対象に実施いたします。

(同じ講座を2度実施。午前:9:50~12:40、午後:14:10~17:00)

【本件のポイント】

1. 「理数探究」特別講座として、物理(笠原邦彦講師)・化学(吉田隆弘講師)・英語(駒橋輝圭講師)の駿台講師により、科目横断的な学びを通じ普遍的(不変的)な学力と学問の基本的リテラシーを考える。
2. 文科省は2016年12月の中教審答申にて、新科目の基本原則として「様々な事象に対して知的好奇心を持つとともに、教科・科目の枠にとらわれない多角的、複合的な視点で事象を捉え、『数学的な見方・考え方』や『理科の見方・考え方』を豊かな発想で活用したり、組み合わせたりしながら、探求的な学習を行うことを通じて、新たな価値の創造に向けて粘り強く挑戦する力の基礎を培う。」と表明。
3. 駿台では「理数探究」に関する講座を高校2年生を対象に、2016年11月20日に初めて実施。「理数探究」の学びの可能性を提案。その授業を踏まえた報告も含む。

【講座の概要】

～考え方を考える～

教科・科目の枠にとらわれない横断的な学びを通じ、普遍的・不変的な学力(深い思考力や柔軟な想像力・創造力)を涵養すると同時に、学問の基本的なリテラシーを身に付けることを目指すのが「理数探究」です。この「理数探究」は、今後の教育改革推進の一環でもあります。

そもそも日常で、掃除は物理のもの、洗濯は化学のもの、なんてことはありません。高尚なことを言い出すまでもなく、この世界では常に横断的なものの見方が必要とされているのです。

今回のセミナーでは、無責任に抽象的なスローガンを掲げるのではなく、具体的な題材を提示することで、今後への議論を深めていきたいと考えております。

【今回のテーマ】

①横断的なものの見方について

(例えば、化学の相対質量、英語の時制などに共通した見方は?)

②1つのことを深く探究することと幅広い視野を持つことの関わりについて

(例えば、重力波の検出はどのようなことと関係しているのか?)

お問い合わせは、駿河台学園広報部(担当:中村)までご連絡ください。

(学)駿河台学園 広報部

TEL 03-5259-3231

FAX 03-5259-3057

E-mail public-s@sundai.ac.jp